

# い

編集発行：池田市議会  
住所：大阪府  
池田市城南  
1丁目1番1号  
郵便番号：563-8666  
TEL：072-752-1111  
FAX：072-753-5414  
[http://www.city.ikeda.  
osaka.jp/](http://www.city.ikeda.osaka.jp/)

# けだ

No.138

いけだ市議会だより

平成26年(2014年)5月1日



**3月定例会** … 2

意見書 … 3

請願 … 3

議会日誌 … 3

**各派代表質問** … 4

**委員会レポート** … 10

議決結果 … 12

やまばと … 12

五月山公園にて(完成したばかりの「忍者のとりで」)

# 3月定例会

3月定例会は、3月3日に開会し、報告案件1件と平成26年度各会計予算や児童医療費の助成に関する条例の一部改正など議案30件、並びに人事案件2件が市長から提出され、本会議及び委員会にて審議を行い、いずれも可決・同意しました。

また、市長の「平成26年度施政及び予算編成方針」と、教育長の「平成26年度教育方針と主要施策」が発表され、それに対する各派代表質問を7日に行い、市民の声を市政に反映させるため、それぞれの立場から活発な議論を行いました。そして、26日には、議員報酬の特例条例廃止の議員提出議案を審議し、原案とおり可決し、3月定例会を閉会しました。

## 一般会計予算は

### 345億円

平成26年度予算総額は、781億7559万円で前年度当初予算と比べて4・8%、35億5427万円の増となっております。

主な事業内容では、中心市街地活性化対策事業として本市発祥の「インスタントラーメン」を活用し、各店が独自メニューを提供する活動を様々なツールを用いて効果的にPRし、地域活性化及び各商店や観光施設への経済波及効果を目指しています。

障害者地域支援センター運営事

業では4007万円を計上し、基幹相談支援センターに虐待専任職員を配置し、虐待防止センター機能を強化することにより、障がい者の権利擁護を推進しています。

「安心して子どもを産み育てられるまちへ」として、妊婦・乳児健康診査事業には8166万円を計上し、適切な時期に妊婦健診を受診できるよう、妊婦の経済的負担を軽減するため、14回8万4千円の補助を行います。また、乳児期に2回の個別検診を実施し、疾病の早期発見に努めています。

児童医療事業では、通院医療費助成を12歳まで拡大するため、2億1875万円を計上し、すべて

の児童を対象に12歳到達後の最初の3月末まで通院医療費の助成を拡大することにより、子育て支援推進のために子育て世帯の経済的負担を軽減しています。

留守家庭児童会運営事業では、1億1556万円を計上し、就労している保護者の不安を解消するため、留守家庭児童会の開設時間をこれまでの17時までから19時までに延長し、児童の放課後の生活の場を保障しています。

既存民間建築物耐震診断補助事業では、耐震改修促進法の改正に伴い、耐震診断義務付け対象建築物の補助制度の拡充が行われます。都市計画法に基づき昭和28年度から事業を継続している、五月山緑地整備事業は4900万円を計上し、今年度については昨年度に引き継ぎ、五月山公園の遊具広場においてバリアフリー対応の防災便所や防災用休憩施設などを整備し、利用者の利便性向上を目指しています。

施設一体型小中一貫校整備事業では、平成27年4月のほそごう学園開校に向け、前年度に引き続き細河中学校敷地内において施設一体型小中一貫校の整備に努めます。また、小中一貫教育推進事業では、池田市内全小中学校を対象に、9年間を通じた効果的な指導体制

を編成し、継続的・効果的な指導体制が確立されます。そして、小中一貫教育本格実施に伴い、「いけだ学」を前期の小学生1年～4年生児童のうち、1・2年生を対象とした「ジュニア版いけだ学ハンドブック(前編)」を作成し、授業で活用されます。

4月に新築オープンした中央公民館の開館記念事業では、広く市民に向けた文化教養講座などに加え、市民交流・情報発信の拠点として、また新設の図書コーナーにより市民が集う社会教育施設としての機能の充実を目指しています。

一般会計予算での反対意見としては、本市が全国に誇る子育て施策が後退するなかで緑丘保育所を民営化する保育所民営化推進補助金を計上することは容認できない、細河小中一貫校整備事業については小1から中3まで同じ施設の中で学習や生活することで生じる問題などが解決できていない中で事業が進められていることは問題である、市の財政が厳しいというのならば、減収の原因となっている法人税減税と消費税増税をやめるように国に強く働きかけていくべきであるなどの意見がありました。一方、賛成意見としては、教育の分野で小中一貫校建設やスクールカウンセラーの増員など教育の



# 代表質問

## 市民クラブ議員団

松本 眞 渡邊 千 芳  
川西 二郎 山田 正 司



質問者 山田 正 司

## 市民の負託を受け4年目、 計画されている各事業を精査

### 老朽化する インフラ対策について

問 インフラ（社会基盤）は、多くが高度成長期に造られたもの。橋梁や道路、上下水道、公共施設などの整備、長寿命化及び更新は、

### 施設の整備更新 優先順位をつける

答 橋梁は、平成21年度策定の長寿命化修繕計画により実施。道路は、舗装点検や街路灯のLED化。上水道は、23年度に施設整備計画を策定。下水処理場施設は、22年度に長寿命化計画を策定。

### 障がい児支援 強化の内容について

問 児童福祉法改正に伴う、障がい児支援の強化による学齢期の子どもの居場所確保へ放課後等デイサービスの制度化の内容や障がい者虐待相談について。

### 障がい児通所支援が 制度化される

答 やまばと学園の他民間3か所の施設設置、学校の放課後等に訓練などの提供。保護者のサービス利用の意向を踏まえ児童が適切な支援を受ける。虐待通知は、知的障がい5件、精神5件の計10件。

### 福祉避難所の設置や 災害時の配備

問 本市の災害時の配備体制が整うのは発生時から何時間後か。障がい者への災害時の支援の仕組みと障がい者や高齢者が安心して過ごせる福祉避難所の設置は、

### 保福総合センター 中央公民館に

答 バリアフリー化された施設を地域防災計画で福祉避難所として指定し活用予定。体制が整う時間は震度5弱以上の時、概ね30分程度で初動要員が参集。

### 行財政改革の 取り組みについて

問 平成23年9月に「池田市行財政改革推進プラン」を策定し、26年度を目標年度と定めたが事務事業評価の仕組みは。市民サービスを考えれば正規職員の削減は限界なのか。継続事業以外の新規の取り組みは。23年7月開始の総合窓口業務の評価は。職員のコミュニケーション能力や苦情処理対応のスキルアップについて。生産労働者の減少は歳入減少となり社会保険費やインフラの改修等で歳出は増大する、10年先を見越した財政運営改革をすべきでは。

### あらゆる事業で 行財政改革を推進

答 事業評価制度は、年度終了後目標達成度と今後の方針の二つの視点から行う、人件費を加えた事業コストの算定。スリム化のため的人员削減は総務省の定員管理調査では限界に近づいていると。新たに保険窓口受付業務の委託、ごみ収集業務の一部委託などを予定。総合窓口業務は一部業務委託開始から2年8カ月、市民サービスの向上と全国市町村からの視察依頼が多く高評価を得ている。スキルアップとして23年度から在職2、4年目の職員にコミュニケーション研修、窓口業務担当者へピークチーム研修を実施。第6次総合計画期間の23年度から34年度の12年間の財政推計による収支見通しにより行財政改革指針を策定。





# 各派

## まちの見張り番議員団

中西昭夫 山口勝平  
安黒善雄



質問者 安黒善雄

## 官民協働の行政運営で 努力が報われる社会の構築を

### 高さ制限緩和と まちの活性化を

問 本市では建物の高さ制限が一律10mとなっているが、市長裁量によつては12mでも可能だと聞きますが、まちおこしの観点から住宅施設の長寿命化や耐震改修工事等で裾野の広い住宅施策活性化のために高さ制限緩和の見解を問う。

### 低層住宅は 規制すべき地域と認識

答 第一種低層住居専用地域は良好な住宅環境を保護するため、規制を緩和する地域ではなく規制すべき地域であると考えます。今後は人口誘致策より市内6300戸の空き家対策の方が優先と考えます。

### 駅前旧ダイエー跡地の 周辺整備は

問 旧ダイエーの跡地について、大阪府（池田保健所）、池田市、土地所有者、大手食品会社、大手自動車会社の5団体で駅前にぎわいサミットの企画ができないか、また、本市がまちづくりの主導的役割を果たせないかを問う。

### 跡地開発未定だが 官民連携は必要

答 官民連携は必要であるが、跡地開発は未定。にぎわいの観点では、駅前に駐車スペースがない点が検討課題と考えています。

### 石造彫刻と 市指定樹木林の活用は

問 まちおこしの観点で文化資源を活用し、本市に点在する石造モニュメントや市指定樹木林を使って、市長の提唱するカーデンステイ池田構想を広げられないか。

### 地域資源を結び ルートで魅力を

答 五月山ふれあい動物園のオーブンや点在する地域資源を結び、観光ルートにより、本市の魅力増大を図る。大阪成蹊大学の学生作成による観光パンフやリニューアールしたHPなどで情報発信する予定。

### 本市リサイクル率と 大型不用品は

問 本市のリサイクル率の目標と現状は。大型不用品のリユースの取り組みが急務ではないか。

### 大型リユースは これから検討課題

答 本市の平成32年度目標は20%であるが、現状の達成率は約12%である。小物・雑貨類のリユースは池田市立3R推進センター（エコミュージアム）で循環型のリサイクルショップ運営をしているが、大型不用品のリユースはこれからの検討課題である。

### 病院事業会計の 赤字拡大の理由は

問 市立池田病院の単年度収支、累計欠損金及び今後の趨勢は。そして、指定管理者制度の考えは。

### 会計制度変更により 大幅な欠損金

答 市立池田病院の平成26年度経常損失は約8億円。特別損失を含む当年度純損失は約24億円。年度末には累積欠損金は約170億円になる模様。趨勢は今後も数値が上がると思われる。その理由は、初期投資分の土地・建物代であり、今回の会計制度変更で退職引当金等が追加された。今後は試算表に基づいたキャッシュフロー会計で把握しつつ、現行体制を堅持。

# 代表質問

自民同友会議員団

木下克重 細井馨  
秦寛房実 小林義典



質問者 細井馨

防災や減災対策の充実と、  
行財政改革の更なる推進を

## 猪名川堤防の サクラ並木について

問 平成22年度からソメイヨシノの植栽が始まったが、現況と今後の整備計画について問う。

## 順次整備事業を 推進について

答 現在まで18種69本のサクラを植栽し、平成26年度は10本のヤエザクラを植栽する予定。今後関係機関と協議し、順次事業を推進していく。

## 家庭内備蓄の推進について

問 南海トラフ巨大地震の被害想定等から、現在推奨されている3日分の家庭内備蓄の期間が、1週間と倍以上になったことを考えると、費用や保管場所等の問題もあり、家庭内備蓄が進まないのではないかと考えるが、どのように推進していくのか問う。

## あらゆる機会を捉えて 推進する

答 1週間分の家庭内備蓄の重要性を広報誌やホームページ、防災訓練、出前講座等のあらゆる機会を捉えて周知し、推進していく。

## 地域防災無線の 増局について

問 MCA無線機は自主防災組織1つに対して1局貸与されているが、避難所となる小学校の校区で考えると数にはらつきがあり、今後の無線機の増局について問う。

## 校区間格差の 是正に努めるについて

答 26年度予算案では、MCA無線機の携帯局を4局増設し、校区間格差の是正に努めるとともに、今後も地域の実情を踏まえ、格差解消、連携強化にも努めていく。

## ごみ収集業務の 民間委託の今後は

問 平成24年4月より「紙類」及び「粗大ごみ・燃えないごみ」について民間委託しているが、今後の収集体制について問う。

## 収集業務の 内容変更を予定

答 平成26年10月からは、市内一部地域の「燃えるごみ」及び「空き缶・空きびん」の収集業務の民間委託を予定し、車両2台、人員3名の削減を見込んでいる。

## 歳入確保に向けた 取り組みは

問 歳入の根幹をなす市税収入の確保に向けた、今後の歳入確保の取り組みは。

## 任期付職員を採用し 養成する

答 平成26年度からは新たに任期付職員を採用し、3年間異動のない専門的な職員として養成し、歳入確保に取り込む。

## 学校施設の 耐震補強工事の予定は

問 全ての学校施設の平成27年度中の耐震化完了に向けた、今後の予定について問う。

## 耐震化完了を目指し 取り組む予定

答 未耐震の学校施設については、平成26年度に、秦野、北豊島、緑丘、神田小学校と北豊島中学校の5校の対象校舎の工事を行い、また、残りの学校施設についても、平成27年度中に工事の実施または建て替え工事に着手する予定。

# 各派



【質問者】 山 元 建

## 日本共産党議員団

難波 進 藤原 美知子  
山 元 建

福祉・暮らし・教育施策の充実で  
住みよい池田を！

### 社会保障制度の充実を

**問** 高すぎる国保料・後期高齢者医療保険料の引き下げ、低所得者の負担軽減を進め、滞納者への制裁措置である資格証明書、短期保険証の発行をやめるべき。

**答** 介護保険については、訪問・通所介護を要支援者に制限し、施設利用を要介護3以上に限定する動きがある。特養などの待機者対策、保険料の軽減策について問う。  
個人情報漏えいの恐れのある福祉窓口民間委託はやめるべき。

### 国の動向を見て対処

**問** 国保は財政支援の強化を国に要望、本市独自の軽減措置もっている。資格証明書等は失業等の事情がある時は発行しない。介護保険制度は次期計画で検討し保険料上昇には基金取り崩しで対処。民間委託でサービス向上を図る。

### 子育て世帯への支援充実を

**問** 子どもの医療費助成、妊婦健診を拡充し子育て世代の負担減を。

### 充実に努める

**問** 子どもの医療費助成は通院12歳まで拡大。大阪府が現行2歳までを就学前まで拡大すればさらなる助成は可能。妊婦健診は8万4千円に増額予定。

### 教育施策の充実を

**問** きめ細かな教育を保障する少人数学級の拡大、あたたかくておいしい中学校給食を求める声がある。バス問題など細河小中一貫校開校に伴う問題は山積。市民の声を聞くべき。

### 親子の絆を大切にしよう

**問** 少人数学級は国・府の動向を見据えて。中学校給食は生徒の声も聞きまずは安全第一で。細河一貫校の通学バスは業者選定後に保護者の要望をできる限り反映する。

### 住宅リフォーム助成の実現を

**問** 地元業者の仕事を増やし地域経済の活性化につながる住宅リフォーム助成制度、まちなか商店リニューアル助成制度の導入を。

### 住宅施策は耐震補助などを実施

**問** 住宅関連では既存民間建築物耐震補助などをすでに実施。

### 災害対策の充実を求める

**問** 巨大地震に備え施設の耐震化など防災対策の充実を図るべき。

### 防災計画の見直しを進める

**問** 拠点の学校耐震化、消防無線のデジタル化、避難所指定、ハザードマップの充実を進める。

### 歴史風致地区指定をのぞいて

**問** 歴史まちづくり法により歴史的風致地区指定で町屋や古墳の保存、清酒・植木・池田みかんを初めとした特産品の販売促進、がんがら火保存などを総合的に進めるべき。まず文化財調査の充実を。

### 指定のメモリアを検討

**問** 重要文化財指定建造物などが指定の条件。慎重に見極めたい。

# 代表質問

公明党議員団

吉本光夫 木ノ平恵子  
馬坂哲平 多田隆一



質問者 木ノ平 恵子

## にぎわいの創出と福祉教育の充実で住みよいまちづくり

### 医療費助成 中学3年までに拡充を

問 本市は本年、6年生まで通院の助成を実施するが、大阪府は現在2歳まで助成している。本年3月、府議会は平成27年度から就学前まで助成実施を表明。それを受けて、本市では中3まで助成が可能と考えるが見解を求める。

### 安心の医療 誠意をこめ

答 平成26年度中に大阪府の医療助成の考えが示される。国と府の動向を注視し、実施に向け検討。

### 高齢者に寄り添った 施策の推進を

問 介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らせる、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の導入について。

### 高齢者の 住み良い環境整備を

答 平成26年度に策定する第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画において地域包括ケアシステムの要素を盛り込み地域の特性に応じた高齢者の生活環境を整備する。

### 深刻な待機児童の 対策を急げ

問 国が示す「待機児童解消加速化プラン」は小規模保育の整備や幼稚園での預かり保育、認可外保育施設への支援の他、保育士への賃金の上乗せ等補助金交付を予定。本市の取り組みについて問う。

### 施設を増設し 待機児童をゼロに

答 「待機児童解消プラン」を活用し保育需要に応じた民間幼稚園による認定子ども園設置や認可保育所及び小規模保育等整備を図る。

### 未来をつくる おもてなしは

問 市制施行75周年の本年、「おもてなし」の心でまちづくりに取り組む市長の決意は。

### まちいっぱい にぎわいを創出

答 「ガーデンシティ池田」構想のもと、五月山を中心とする観光事業等に取り組んできた。今後も八重桜整備や池田みかん、一店一品事業やコスプレ・バルイイベント等観光促進と商業の活性化を図る。

### 生命を守るコウチンの 公費助成を

問 今年度から9歳以下の子どもの水疱瘡と高齢者の肺炎球菌の2ワクチンが定期接種となる。本市の取り組みと公費助成を求める。

### 実施に向けて検討する

答 国の動向を注視し、実施について検討する。

### 小中一貫教育の 本格実施に向けて

問 中学校区における組織づくりや「4・3・2」の区分を重視した教育内容とスクールバスの活用について問う。

### 「教育のまち池田」の 更なる飛躍

答 組織面ではコーディネーターを活用し小・中学校間の連携を深める。特に中期（小5～中1）は交換授業や一部教科担任制等の指導充実を図る。細河中学校区のスクールバスは校外学習や部活等の活用を検討する。



# 各派

民社・友愛議員団

内藤 勝 前田 敏



質問者 内藤 勝

歴史を振りかえりチャレンジし  
にぎわいあるまちづくり

## 池田と明治村の 呉服座池田市デー

**問** 呉服座は西本町の呉服橋南、猪名川の堤にあった。呉服座は「くればや」と呼ばれ、地元では五福大入ということで、「くさくさ」と親しまれていた。池田から移設した明治村と連携して池田市デーとして観光PR事業を予定しているが。

## 明治村呉服座で 観劇会を検討

**答** 明治村の1階部分の舞台が使用可能。年内に池田市デーとして観劇会等を検討。機会があれば犬山市からも池田市に観光ツアーを企画し訪問いたたく。

## パート就労者 子育て支援の影響は

**問** 平成27年度から子ども・子育て支援の新制度で保育所利用要件の緩和を取り入れられるが池田市として政府が示す緩和策軽減に対する子育て支援面の影響はないか。

## 子ども子育て事業計画で 検討する

**答** 摂津・豊中市は月96時間就労パートを支援基準としているが、池田市は現在64時間以上の入所資

格としている。現在策定中の子育て支援事業計画で、保育需要の調査結果や待機児童数の状況を勘案して就労時間を検討する。

## 大阪国際空港の 池田地域と共生は

**問** 航空会社から夏ダイヤの運行計画が発表された。大阪国際空港で国内航空便の発着枠が拡大され、札幌便や那覇便が増便することにより、観光や出張といった多くの需要にこたえることができるが、さらに近距離国際線の就航など地域の活性化に寄与できる運用の働きかけをするべきと思うが。

## 空港周辺の 地域振興や街づくりは

**答** 10市協加盟市として、安全・環境を前提に長距離増便により市内小中学校の修学旅行が柔軟に計画できる。空港官舎跡地と新関西空港会社が所有する合計5.3haの土地は一体活用の可能性を探り、新関西空港会社がコンサルとともに検討中。空港周辺の地域振興や本市のまちづくりに資するよう池田市も積極的に取り組む。

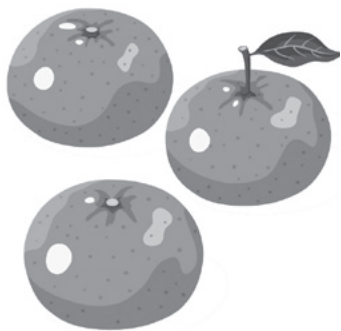
## 池田温州みかんの 苗木の生育は

**問** 池田温州みかんの生育を委託されている瀬戸内園芸センターを訪問し、生育状況を確認した。

500本をカラタチの木に接ぎ木して、150本位、生育が確認出来た。池田温州みかんを復活し商品化も視野に入れたプロジェクトを検討されている具体的内容と効果は期待できるのか。

## 商品化による 産業活性化を期待

**答** 愛媛県今治市で畑のみかんを接ぎ木し育成中。五月山第3駐車場と古江地区に植栽を予定。実がなるまでに約5年から10年の期間が必要。今後、マレードやジュースなどの加工品として活用することにより各種産業の活性化や池田市のPRに効果が期待される。





# 委員会 レポート



3月定例会では、市長から提出された議案のうち23件の議案を、市議会に設置している4つの常任委員会に審査付託し、細部にわたり慎重に審査しました。

3月26日の本会議では、各委員長が審査の結果報告を行い、市長から提出された議案はいずれも原案どおり可決しました。

各委員会での審査の主な内容は、次のとおりです。

## 総務委員会

**地域分権制度の補助金事業の現状及び今後の展開は**

〈一般会計予算〉

**問** 地域分権制度については見直しを検討することであったが、平成26年度予算では補助金による事業比率が前年度に比べて微減にとどまった理由及び今後の展開について問う。

**予算編成時に関係三者によるヒアリングなどを実施**

**答** 平成26年度の予算編成時より「市内11の地域コミュニティ推進協議会」と「事業担当課」、並びに「地域分権・協働課」との間でヒアリングを実施し、市が自ら行う「市実施事業」と、同協議会に補助金として支出し、地域の力を活用して行う「地域実施事業」との仕分けを行った。

この仕分けを明確にすることが、補助金による事業比率の抑制につながるものと考え、今後、更なる「地域実施事業」の削減を助言していきたい。

**共同利用施設の  
長寿命化や統廃合の計画は**

〈一般会計予算〉

**問** 老朽化が進む共同利用施設の長寿命化や統廃合に取り組みとのことであるが、今後の計画や国及び府からの補助金等の支援体制について問う。

**国から示される  
指針に沿って検討**

**答** 共同利用施設を含む公共施設の再編は、人口減少や需要の変化等を踏まえて、所管部局と連携しながら取り組む考えである。

また、本年1月には、国から府に対し「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針案」が示されたと聞いており、今後、正式な指針が示されるものと認識している。本市としては、その指針に沿って将来的な公共施設のあり方を検討していきたい。

## 文教病院委員会

**府からの教職員人事権の  
移譲に伴う取り組みは**

〈一般会計予算〉

**問** 平成24年度より大阪府から豊

能地区3市2町に公立小中学校の教職員人事権が移譲されたが、平成25年度の採用試験は大阪府と合同で実施する中で、志望地区と受入れ地区の調整をどのように図り、また、採用人数はどの程度を予定しているのか。

**平成26年度は採用試験を  
単独で実施**

**答** 教職員採用試験を平成25年度は大阪府と合同で実施したため、合格者に豊能地区3市2町あるいは大阪府のどちらを希望するのか確認し、その上で成績・年齢・性別・居住地などの要件を参考にしながら、府の教育委員会と豊能地区人事協議会との協議で決定がなされた。

また、受験案内での採用人数は、今年度豊能地区3市2町の小学校では120名、中学校では50名となっている。

さらに、平成26年度は豊能地区で単独実施を予定しており、小学校では約80名、中学校では約40名の採用を予定している。

**平成26年度予算の純損失が  
前年度から急増している理由は**

〈病院事業会計予算〉

**問** 本予算では、純損失が前年度と比較して急増しているが、その

理由と、赤字の増加による病院事業への影響についての見解を問う。

### 地方公営企業会計基準の見直しによる影響

**問** 本予算での純損失の急増は、地方公営企業会計基準の見直しに伴い、過年度分の引当金繰入額を特別損失に計上したことによるものである。

当年度純損失については、今回計上した特別損失を除いた経常損益として計算すれば、平成25年度の本予算の補正後よりも約1億円改善している。

また、健全化指標である資金不足比率が高まると、企業債の発行にあたって府の許可が必要となる。さらに経営健全化基準を超えた場合は経営健全化計画の作成が求められることになるが、会計基準の見直しに伴う引当金の計上は資金不足比率への算入について3年間の猶予が認められていることもあり、平成26年度予算での資金不足は発生せず、わずかではあるが内部留保資金が確保できている。

## 厚生委員会

### なぜ今ある 公立保育所の数を減らすのか

《池田市立保育所条例の一部改正》

**問** 子育て施策の充実が求められている現在、公立保育所新設に対する国庫補助が削減されている状況で、なぜ今ある公立保育所をわざわざ減らすのか。

現状の公立保育所数を堅持しつつ、新たな保育所整備を行うべきと考えるが、見解を問う。

### 民営化の効果額は 新たな子育て支援施策の財源に

**答** 保育所の民営化については、池田市行財政改革指針に基づき、「民間でできることは民間で行う」を念頭に、行政のスリム化などを図るものである。

また、民営化による効果額は、待機児童解消等を目的とした民間による保育所建設への補助といった新たな施策の財源となるほか、人材の捻出も含めて、今後の子育て支援施策の充実に充てていくことが可能となるものである。

### 寡婦控除のみなし適用を 拡充するに至った経緯は

《一般会計予算》

**問** 子どもの貧困対策として、ひとり親世帯に対する施策の必要性が高まっている中、池田市では「未婚のひとり親世帯への寡婦控除のみなし適用」を実施することのことだが、その実施に至った背景や経緯等について問う。

### 未婚のひとり親世帯の現状から 先駆けて実施

**答** 寡婦控除のみなし適用については、国でも議論がなされているところであるが、未婚のひとり親世帯の現状は、寡婦控除が適用されている世帯と総じて違いがあるわけではなく、国に先駆けて「みなし適用」を実施し、支援することにしたものである。

子育て支援課が窓口となって認定を行い、控除を受けようとする人がその認定証を持って各窓口で控除を申請するものである。



## 土木消防委員会

### 今後の下水道使用料改定の 必要性は

《公共下水道事業会計予算》

**問** 下水道使用料は平成25年度に使用料の改定を行った後も、大阪府下で2番目の安さを維持しているが、下水処理施設等の更新には今後も莫大な経費を要するとともに、公共下水道事業整備基金も枯渇する見込みの中で、更なる使用料の改定が必要ではないかと考えるが、見解を問う。

### 市民生活への 影響を考慮し検討

**答** 下水道使用料の改定により、平成25年度予算では赤字約2億円を計上していたのが平成26年度予算では約3千万円に縮小され、公共下水道事業整備基金の枯渇後もある程度の資金を確保できる見込みである。

赤字を解消し、下水処理施設等の更新を行うために、今後、更なる使用料の改定が必要か否か、市民生活への影響も考慮し、再度検討したい。

○市長提出議案及び議決の結果

議 案 名	議決の結果
池田市新型インフルエンザ等対策行動計画の作成について	報 告
池田市消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定について	原案可決（全員異議なし）
池田市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市高齢者安否確認に関する条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市児童医療費の助成に関する条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市立保育所条例の一部改正について	原案可決（賛 成 多 数）
池田市優良有料住宅の普及の促進に関する法律に係る手数料条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市都市の低炭素化の促進に関する法律に係る手数料条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
市立池田病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市水道事業給水条例及び池田市下水道条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市社会教育委員条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市火災予防条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市消防保安行政事務手数料条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市道路線の認定について	原案可決（全員異議なし）
池田市教育委員会委員の任命について	同 意（全員異議なし）
財産区管理委員の選任について	同 意（全員異議なし）
平成 25 年度池田市病院事業会計補正予算（第 2 号）	原案可決（全員異議なし）
平成 25 年度池田市水道事業会計補正予算（第 3 号）	原案可決（全員異議なし）
平成 25 年度池田市公共下水道事業会計補正予算（第 3 号）	原案可決（全員異議なし）
平成 25 年度池田市国民健康保険特別会計補正予算（第 5 号）	原案可決（全員異議なし）
平成 25 年度池田市介護保険事業特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決（全員異議なし）
平成 25 年度池田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決（全員異議なし）
平成 25 年度池田市一般会計補正予算（第 8 号）	原案可決（全員異議なし）
平成 26 年度池田市病院事業会計予算	原案可決（全員異議なし）
平成 26 年度池田市水道事業会計予算	原案可決（全員異議なし）
平成 26 年度池田市公共下水道事業会計予算	原案可決（賛 成 多 数）
平成 26 年度池田市国民健康保険特別会計予算	原案可決（賛 成 多 数）
平成 26 年度池田市財産区特別会計予算	原案可決（全員異議なし）
平成 26 年度池田市介護保険事業特別会計予算	原案可決（賛 成 多 数）
平成 26 年度池田市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決（賛 成 多 数）
平成 26 年度池田市一般会計予算	原案可決（賛 成 多 数）
池田市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決（賛 成 多 数）

○議員提出議案及び議決の結果

議 案 名	議決の結果
池田市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例に定める議員報酬の特例に関する条例の廃止について	原案可決（賛 成 多 数）

# やまばと

5月を迎え、さわやかな新緑の季節となりました。先月のさくらまつりにお出かけになりましたでしょうか。リニューアルしたふれあい動物園と忍者のとりでができ、ガーデンシティ池田としての観光スポットがまた新たに付け加えられました。ぜひ四季折々の五月山をお楽しみ下さい。また、新しい中央公民館ではいよいよ文化交流事業もスタートし、生涯学習の場として、今後ぜひ市民の皆様にご活用願いたいと思います。さて、3月議会では、環境、教育そしてまちづくりと様々な議案が審議された後、平成26年度当初予算が可決されました。各党派からの多岐にわたる代表質問に対し、市政の現状や将来像など、活力ある施策等について答弁がありました。期待をしていきたいと思えます。

今回の市議会だよりが、私たち編集委員にとって最後のたよりにになりました。1年間のご愛読、本当にありがとうございました。

市議会だより編集特別委員会

委 員 長	山 元 建
副 委 員 長	秦 寛 房 実
委 員	安 黒 善 雄
委 員	多 田 隆 一
委 員	山 田 正 司
委 員	内 藤 勝